

## 1. 主催者あいさつ（北海道森林管理 森林整備部長）



大勢の方々にご参加いただき、ありがとうございます。  
定山溪中学校においては、森づくり活動や動植物調査等に、積極的に取り組んでおられます。パネル展示等の内容を見ても生徒の熱心さが感じられました。その取り組みの成果を、昨年の12月に札幌市が開催した「さっぽろこども環境コンテスト」において発表し、「優秀賞」を受賞されたと聞いています。

NPO法人からの発表者であるシーズネットについては、地域での植栽や下刈り等の活動が認められ、昨年の5月に北海道森林管理局長から「国民の森林づくり推進功労者に対する感謝状」を受賞されました。また、北海道大学の学生による発表については、昨年の12月に野幌で開催した「フォーラム 野幌森林公園の今」において北海道大学から報告された、10年間調査しているキノコの現況等について、中学生の皆さんへ解りやすく説明されると思いますので、今後の森づくり活動の参考になると思います。

本日の発表会には、定山溪小学校の生徒も参加すると聞いております。有意義な時間を共有できますことを期待しております。

## 2. 活動発表

- ① NPO法人シーズネット 総括副理事長 千秋 憲博
- ② 北海道大学 農学部森林科学科3年 小出 祥平
- ③ 石狩地域森林ふれあい推進センター 大野 浩司
- ④ 札幌市立定山溪中学校 全学年全生徒

NPO法人シーズネット 千秋さんからは、台風による風倒被害地の再生として、「よみがえれ野幌の森」へ参加したことが、森づくり活動のきっかけとのことでした。仲間との初めての植栽経験において、小雨模様で泥まみれになって実施した経験が、街中では得られない大自然に向き合う新鮮な感覚への喜び、後世のための社会貢献なのだという充実感、また、仲間からの声援もあり、今後も森づくり活動に取り組んでいきたいと発表がありました。



北海道大学生 小出さんからは、野幌森林公園で観察・調査しているキノコについて、「森の分解者としてのキノコの種組成を調べる」と題して、キノコの本体は？キノコの働きは？キノコの種組成の調べ方等について話され、キノコの本体は「菌糸体」として土の中で広がっていること、キノコは生物の花に相当するものであること、キノコの菌によって落ち葉や枯死木が分解される等について、解りやすく説明していただきました。

石狩地域森林ふれあい推進センターからは、定山溪小学校・中学校と実施している「森林環境教育」の内容等を発表しました。当センターが平成22年度から森林教室を実施していること、中学校では学校独自に野生動植物調査や各種発表会に参加し、学校から外部へ情報発信をしていること、また、今年度からの新たな取り組みである「ゆめの森づくり」活動について発表しました。



Forum  
on Creative Forest



「平成二八年度 森づくり活動発表会」を開催し、NPO法人・大学生及び定山溪中学校生徒が実施している、森づくり活動・森林での調査・森林保全活動等についての発表と「もりを観察・学ぶ・育てる」と題してパネルディスカッションを行いました。

森づくり活動発表会を開催しました

開催日時

平成29年2月23日

13時30分～

開催場所

札幌市立定山溪中学校

プログラム

- 1 活動発表
- 2 パネルディスカッション
- 3 その他 パネル展示等

定山溪中学校からは、今年度の活動内容等を中心に「森づくりのあゆみ2017」と題して発表されました。郷土樹種の種子採取・苗づくり・植栽・成長調査等の森づくり活動、野生動植物・昆虫の調査状況、カタクリ・エゾエンゴサク等の環境保全活動、JICA研修の方々との交流、生徒が描く森のイメージを実現する「ゆめの森づくり」について等が発表され、「身近な自然の素晴らしさと大切さを知った」「今後も自然に係わりたい」「後輩に、この活動を引き継ぎたい」等の感想が発表されました。



### 3. パネルディスカッション



#### パネラー

各発表者 千秋 憲博小・小出 祥平  
定山溪中学校 3年生 阿久津・大野・坂井  
進行  
石狩地域森林ふれあい推進センター 藤生 浩史



パネルディスカッションでは、「もりを観察、学ぶ、育てる」をテーマに、大人・大学生・中学生の考え方等による森づくりについて討論をしました。

主な内容については

- ・ 各発表者の森づくり活動等への感想・意見
- ・ 中学生の森づくり活動の素晴らしさ
- ・ 高齢者による活動の難しさや・悩み
- ・ キノコ・菌類の見方が変わった
- ・ 地域の自然や森づくりの大切さ等について討論されました。

パネラーの皆さんありがとうございました。



### 4. パネル展示等



### 5. 閉会



定山溪中学校 校長 高谷 義仁

森づくり関係者、地域の方々等多数の参加をいただき大変うれしく思っております。

発表者の内容等を聞いて、今まで以上に定山溪地区が、自然・森林が多く、森づくり活動等に恵まれた地区だと思いました。森づくりは長い年月が必要であり、1人1人の活動としては小さなことですが、多くの方々が繋がることによって森がつくられることを、生徒も知ったと思います。今後も森づくり活動等が続けたいと思いますので、皆様方のご協力をお願いします。

本日は、大変ありがとうございました。